

議員
 アグリサイエンスバレー事業において企業誘致が順調に進んでいる状況や財政調整基金の積立て状況、また今後の新たな産業団地の整備へ向けた取組みを考えると、市が大きな決断をして現在の空家バンクの登録件数だけでは受皿になり切れない。そのため、新たな開発も検討の価値があると考える。実際に境町では、社会資本整備総合交付金や家賃低廉化補助金の活用によってイニシャルコストを削減し、PFI方式によって実質財政負担なしで定住促進住宅を整備し、移住・定住促進の政策を成功に導いている。石下駅周辺及び東部拠点地区まちづくり構想についても新たに再開発を見込んでいるが、現在の人口や住民だけでなく限られた状況であり、新たな定住人口の増加によって良い新陳代謝を起こしていくことが再開発をする大きな意義の一つだと考える。今後の常総市のさらなる発展と安定した財源の確保を考えると、石下庁舎南側市有地や旧石下町役場の跡地に関しては行政機関も近く、



佐藤 剛史 議員

答 弁

新しい推進施策も打ち出していきたい

質 問

アグリサイエンスバレー事業における移住定住促進策の早急な対応を望む

佐藤議員の質問動画



また商店や飲食店も多い、医療機関や鉄道の駅にも近い、住環境としては大変適した場所である。石下庁舎南側の市有地や旧石下町役場跡地の市有地について、仮に定住促進住宅の開発を見込んだ場合、開発条件はクリアできるのか。

都市計画課長
 開発条件については、市の都市計画における用途地域では、第二種住居地域ということで条件を満たしている。しかしながら、今年度公表した立地適正化計画において旧石下庁舎跡地は居住誘導区域に指定されているが、石下庁舎南側の市有地については都市機能誘導区域と居住を誘導する区域には指定されていないため、仮に石下庁舎南側市有地への定住促進住宅などの建設の際には検討協議が必要となる。

議員
 アグリサイエンスバレー事業における移住・定住のまたとない好機を逃さず、予算をかけるべきところにはしっかりとかけて産業団地の整備と住宅の整備を抱き合わせで推し進めていただきたい。



遠藤 章江 議員

答 弁

導入を検討する可能性はある

質 問

「尿1滴でがんを検査できる」CMをご存知ですか？

遠藤議員の質問動画



議員
 新型コロナウイルス感染症の影響で、がんの検診控えが増えていく。検診の遅れが原因で、がんが発見されない患者は令和2年に全国で約4.5万人に上るといわれる中、当市のがん検診の状況はいかがか。

保健衛生部長
 各検診とも、令和元年度まで横ばい、または上昇傾向にあったが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で低下している。

議員
 令和2年度、各がん検診にかかる費用、予算総額、がんに関わる医療費はいくらか。

保健衛生部長
 検査料金として男性1万758円、女性2万6158円、予算総額は3963万円である。がん関係の医療費は令和2年度は約7.2億円に上る。

議員
 がんを減らすためには、早期発見、早期治療が基本である。「尿1滴でがんを検査できる」とのCMがあるが、尿による線虫がん検査法を健康増進の一環として検診

に変え利用することができないか。

保健推進課長
 がん検診は、健康増進法に基づき基準を満たした検診を行っている。尿による検査はコストパフォーマンスに優れた将来有望な方法だが、取り扱う医療機関が少なく精度が浅い。今後導入を検討する可能性はあるが、今すぐは難しい。

議員
 自治体のがん検診は公費助成であり、国の基準を満たした方法のみ実施していることは承知している。検診率が上がらない最大の原因は、病院等に行き検査をするのは面倒だという理由である。自宅で、尿のみで検査できるのは非常に魅力的である。私は、検査を行っている企業と直接やり取りをした。既に複数の自治体と、尿検査法の導入に向けた協議を始めていることが分かった。当市も保健財政への負担を軽減する目的で、あるいは忙しくて病院に行けないような世代への動機づけ政策の一つとして、病院や近隣の大学、研究機関と協力しながら、先進的な取組みを検討していただきたい。